

## 刊行概要の変更について

刊行概要は、区史の装丁や組体裁、執筆者が原稿を執筆するための基本ルールを定めた執筆要項など、区史を刊行するために必要な項目をまとめたものです。

平成 30 年度第 1 回港区史編さん委員会において決定し、令和元年度第 2 回港区史編さん委員会で、一部変更されました。

この度、自然編、通史編 原始・古代・中世の編集において、引用の表記や時代特性による読みやすさなどを考慮し、次のとおり刊行概要を変更します。

刊行概要	変更前	変更後
項番 5	自然編 A 4 2 段組 約 <u>1,600</u> 字を想定 (14Q 9.9p) ※コラム及び引用文 (短文を除く) は 13Q (9.2p)	自然編 A 4 2 段組 約 <u>2,150</u> 字を想定 (14Q 9.9p) ※コラム及び引用文 (短文を除く) は 13Q (9.2p)
項番 7 (1) ①	文の構成は、章、節、項、見出し、4 種類とします。	文の構成は、章、節、項、見出し <u>(小見出し又は吊り見出し)</u> 、の 4 種類とします。
項番 7 (2) ④数字	本文中の数字は、原則として縦書きの場合は漢数字、横書きの場合は半角算用数字とし、新聞による数字表記を基準とします。 横書きの場合は、数量や順序などを示す場合は原則として算用数字、慣用句などは漢数字を用います。見出しも本文と同様とします。	本文中の数字は、原則として縦書きの場合は漢数字、横書きの場合は半角算用数字とし、新聞による数字表記を基準とします。 <u>ただし、原始・古代・中世は、引用文を本文に用いる場合、そのままの数字の表記とし、また、和暦における年月日表記においては、10 年であれば「十年」を用いることとします。</u> 横書きの場合は、数量や順序などを示す場合は原則として算用数字、慣用句などは漢数字を用います。見出しも本文と同様とします。